

第40回ふれあい広場 祝辞

「第40回ふれあい広場」の開催を、心からお祝いを申し上げます。

今年で40回の節目を迎えるふれあい広場は、「ハンディキャップのある人・ない人、子どもやお年寄りなど全ての人々が一堂に会し、お互いの理解を深めること」を目指し、地域に根差したイベントとして続いてきました。長年にわたり支えてこられた関係者の皆様方に、心から敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の流行により、昨年度は開催中止を余儀なくされ、今年度も例年どおりの内容での開催が難しい状況です。人と人とのつながりが制限される状況下であっても気持ちのつながりを継続するため、新しい形でのふれあい広場として、ここに大きなメッセージボードを作り上げられたことに、私をはじめ多くの方々が希望と勇気をもたらしていることと存じます。

誰もが個人として尊重され、住み慣れた地域で自分らしく、いきいきと暮らすためには、年齢や性別そして障害の有無に関わらず、それぞれの立場を尊重し理解することはもちろんのこと、地域における住民同士の支え合いや絆づくりが重要であると考えております。

本市といたしましても、“地域に住まう全ての人々がお互いを理解し合い「ともに生きる」という意識の高揚を目指す”ふれあい広場の趣旨を共有し、尚一層、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

結びとなりますが、御尽力をいただきました実行委員の方々をはじめ関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、御来場の皆様の御健勝を祈念申し上げます。



那須塩原市長

渡辺美知太郎